

役立つコンテンツが大学4年間読み放題 日経パソコンEdu



詳細は Web サイトでご紹介しています <https://nkbp.jp/npcedu>

日経パソコンEduは、大学生活における授業や資格取得、就職活動などに役立つ多彩なコンテンツをPDFで提供するクラウドサービスです。ICT活用に関する多彩な記事コンテンツを利用できるほか、**100冊以上の書籍もまるごと収録**しています。生成AI活用など各分野の最新のコンテンツや書籍も随時追加しています。日経パソコンEduをご利用いただくことで、4年間の大学生活を通じて必要なICT活用スキルが身に付きます。活用ガイドブックには、**通常価格で約3万2000円に相当する4年間のアクセス権が付属**します。

クラウドサービス「日経パソコンEdu」

クラウド上でコンテンツを提供



EduのWebサイトでは「日経パソコン」の最新記事を中心に、人気のOfficeテキストやキャリア関連書籍などをPDFで提供しています。コンテンツは随時更新します。

学生も教職員もさまざまな場面で活用



印刷・配布



ブラウザで閲覧

セキュリティの基礎



オリジナル教材制作

コンテンツはWebブラウザで閲覧できるのはもちろん、印刷して授業で配布できます。記事の一部をコピーして学生のスライドや教員が制作する教材に使うことも可能です*。

<https://nkbp.jp/npcedu>

ICTの幅広い分野をカバーするコンテンツが読み放題



セキュリティ・情報モラル、Office、著作権、プログラミング、AI、キャリア形成といった幅広いジャンルの最新情報をPDFで閲覧できます。教科「情報I」の各章に対応したコンテンツもあります。

キーワード検索機能により、大量のコンテンツの中から必要な情報を探せます。

ジャンル	主な内容
Officeソフトの基本から応用まで	Officeの基本操作、Word/Excel/PowerPoint/One Noteの活用テクニック、Word & Excel 文書作成術、Excel 上級活用講座
Windowsを使いこなす	Windowsの基本と活用/カスタマイズ パソコン操作の省力化・効率化
初めてのMac	Macの基本操作を学ぶ Office for Mac 入門
セキュリティの基礎知識と対策	基本から学ぶ情報セキュリティ ネットの護身術、安心・安全のパスワード管理法
著作権と情報倫理を学ぶ	著作権入門、知らないと困る法律とネットのモラル 就活にも役立つメールの書き方、教育著作権検定
就職活動/キャリア形成/資格・検定試験対策	就職活動、キャリア形成、ビジネススキルアップ、 MOS試験対策講座、ITパスポート合格講座

※ジャンルと内容は変更することがあります。



「ニューステップアップ情報I教科書 傍用問題集」、プログラミング、資格・試験対策本、就職・キャリア関連ガイドなどの専門書が読めます。



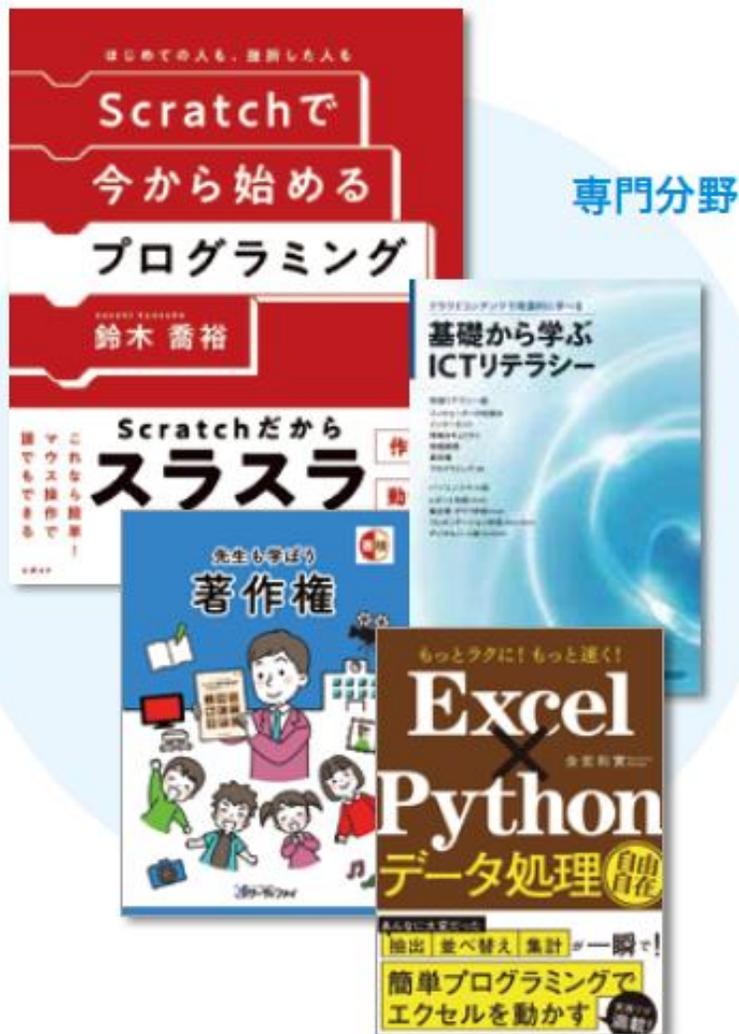
教員は幅広いコンテンツの中から自分の授業に合わせて選べ、学習者は基礎から発展的な調べ学習までさまざまなスタイルで学べます。

ジャンル	主な内容
大学「情報」入試対策(高校「情報I」対応)	練習問題(自動採点テスト)、DNCL解説、用語集
クラウドサービス活用術	クラウドサービスの賢い使い方 SNSを安全に使う
プログラミング講座	プログラミング入門、Excel VBA(マクロ)を学ぶ プログラミング系資格
ハード、ソフト、ネットの仕組み	AI(人工知能)&機械学習、ソフトウェア、 パソコン/周辺機器、インターネット/Wi-Fi
パソコン&周辺機器活用	PDF/印刷、日本語入力/フォント、バックアップ/ 電子メール、情報収集/整理/活用、写真撮影/編集/管理
スマホ&タブレットの使い方	iPhone & Androidの快適操作術、スマホ+パソコン 活用、一歩先を行くスマートフォン活用法
最新トレンド徹底解説	トレンド&キーワード解説、XR/メタバース コンピューターの現在と未来

ICT活用の書籍もまるごと収録

100冊以上の
書籍タイトルを収録

オフィスソフトの基礎から資格テスト対策、就職に役立つ
キャリアデザイン関連書籍など、日経BPが発行する最新の
専門書籍を自由に読むことができます。



常に最新のコンテンツを利用できる

特集2 話題の対話型AIを使いこなそう!

ChatGPTをビジネスに活用

世界中で話題沸騰の対話型生成AI「ChatGPT」。まるで人間のように会話してくれるだけでなく、アイデアをまとめてくれたり、企画書を作成してくれたりなど、その可能性は計り知れない。ChatGPTをビジネスで活用するヒントを紹介する。 文：秋葉 健太

Part1 ChatGPTで何が出来る? どうやって始める?

●言葉を認識して、きちんと返答できるAI

「ChatGPT」は、ネット上の膨大な情報を学習した上で、「テキストコーパス」により自然言語を理解し、人間のように応答する対話型生成AI (Generative AI) だ(図1)。

従来のチャットボットは、あらかじめ用意されたデータセットに基づいて、決められた内容を選んだ。しかし、ChatGPTはそれとは異なり、膨大なテキストデータを使って文中のキーワードとの関連性を統計的なアプローチで推察したり、文中の次の単語やフレーズを予測して意味が通る文章を作成する(図2)。

ChatGPTは、質問に答えるだけでなく、文章の作成や翻訳なども可能。今後、調査やブレインストーミング、ライティングなど、さまざまな分野での活用が期待されている。中にはホワイトカラーの産業革命が起きると考える専門家もいる。

高度な生成AIのChatGPTだが、利用するのに特別なスキルは必要ない。知識や経験に関係なく、誰でも気軽に使えるのも特徴だ。

ChatGPTを利用するには、まず「入力: おじいさんとおばあさんが...」

AI: 「3匹の子豚が...」 50% ←こちらを採用!

AI: 「住んでいました。」 90% ←こちらを採用!

AI: 「死んでいました。」 50%

出力: おじいさんとおばあさんが住んでいました。

図1 「ChatGPT」は会話形式で文章を作成したり、アイデアを出したりできる対話型の生成AIだ。ネット上の膨大な情報を学習し、それを基に利用者からの質問に自然な文章で回答してくれるため、これまでのチャットボットとは全く異なる

図2 ChatGPTは学習した情報の中から、次に来る可能性の高い単語をAIが選んで文章を作っていく。人間では到底予測し切れない膨大な量の情報を基にしているため、利用者が思いつかないようなアイデアやストーリー展開を提示してくれることもある

30 日経パソコン 2023.12.4

特集2 驚異の最新AIサービス

シンギュラリティは明日にも来るのか

今、ニュースを聞かない日はないほど話題になっているが、「生成AI」と呼ばれる最新AIサービスが、文章を生成してくれる「ChatGPT」に代表されるように、多彩なコンテンツを生み出す力を持っている。これらの最新AIサービスの威力を総じてチェックし、生活や仕事、学習への影響を考えるヒントにしてほしい。

文：秋葉 健太

総論 生成AIが学びや仕事を変える

IT系のニュースなどに触れていると、毎日のようにChatGPTに代表される生成AI (Generative AI) の話題が目に入る。生成AIは、その名が表すように多様なコンテンツを生成する機能を備えている(図1)。テキストを生成する文章AIならば、原稿や企画案、ストーリー、そしてテキストで表現されるコンピュータープログラムまで作り出してくれる。テキストのみならず、翻訳もお手のもの。イラストなどの画像や音楽なども、「Midjourney」などのAIに指示すれば新しい作品が出来る上がる。仕事や学校の課題に取り組み方法が、これまでとはガラリと変わる。

状況を俯瞰(ふかん)すると、AIの適用範囲が認識系から生成系へと広がっていることが分かる(図2)。ディープラーニングが実用に供されるようになって、画像認識や音声認識などの分野での活用が進んできた。これは正解を求める用途と言える。

一方で、生成AIの生み出すコンテンツには正解はない。人間が生み出すコンテンツに1つの正解がないように、AIが多様なコンテンツを生み出し、人間の活用を待っている。

本特集では、生成AIにまだ触れていない多くの人に向けて、生成AIサービスで得られる体験を見ていく。AIが人間を超えるシンギュラリティ(技術的特異点)が近づいているのか、日進月歩の生成AIの今を見て考えてほしい。

●さまざまなコンテンツを作り出す生成AI

生成AI (Generative AI)		翻訳
記事	制作ストーリー	
企画案	レポート	
プログラム		
画像	イラスト	音楽
	絵画	歌
	動画	
	など	など

図1 ChatGPTを含む生成AIが多様なコンテンツの生成に関わるようになって、AIの活用範囲が広がる

●認識AIと生成AIの違い

認識AI (Discriminative AI)	生成AI (Generative AI)
画像や音声などの入力情報を認識、識別して推論する	指示に対して文章や画像、音楽などのコンテンツを作り出す

図2 これまで実用化されてきたAIの多くは、入力情報を認識、識別して推論する認識AIだった。生成AIは、正解がないコンテンツの生成を扱う

翻訳AI AIが外国語の壁を取り払う

●翻訳品質の評価が高いDeepL

DeepL翻訳のWebサイトにアクセスして、テキストを入力するだけで簡単に翻訳文が得られる。1回につき翻訳できる文字数は5000文字まで

2023年3月時点で31言語に対応。それらの言語間で翻訳できる

単語をクリックすると、類義語などがプルダウンで示される。翻訳文の違和感をなくすときに便利だ。同時に画面下部には単語の意味を示す詳細も表示されている

Since its founding, Nikkei woman's main business has been the publication management of our paper periodicals. In the field of technology, we publish "Nikkei Top Architecture" and "Nikkei WOMAN".

図3 単語をクリックすると、類義語などがプルダウンで示される。翻訳文の違和感をなくすときに便利だ。同時に画面下部には単語の意味を示す詳細も表示されている

●カメラの映像をリアルタイム翻訳

Googleレンズ

Nikkei PC

A new generation experience led by the latest CPU

Work! Advanced Communication Techniques

図4 Googleレンズアプリを使えば、見たままの文字や景色を翻訳する

最近の生成AIの発達と同じく、AIによる翻訳も進歩を続けている。AIによる翻訳を新しく生成するAIとは用途が異なるが、私たちの生活や仕事を変化させる可能性が高い。自然で高精度な翻訳が手軽に使えらる書棚などが外国語であっても苦勞する必要がなくなるからだ。

翻訳AIでは、ドイツのDeepLが2017年に提供を始めた「DeepL」が注目されている。同社のWebサイトにアクセスすれば、すぐに翻訳を利用できる(図1)。執筆時点で31言語に対応し、それらの言語間相互の翻訳が可能だ(図2)。

DeepLが注目されるのは、その翻訳が高精度で、自然な翻訳になっている点だ。DeepLの発表では、プロの翻訳者の評価で他社の翻訳システムよりも高い評価が得られているとアピールする。翻訳の精度についての評価は難しいが、ネット上の比較記事や評価などを見ても、翻訳AIとして高い精度の翻訳ができると指摘している例が多い。

機能的にも、翻訳に修正を加えたいような場合に単語をクリックすると類義語などが表示され、そこからより適切な単語に修正していける機能は便利だ(図3)。WebサイトのURLや、PDFファイルをソースとして、翻訳することもできる。

翻訳AIで先行していたグーグルも、多様なアプリケーションを提供している。その中でもスマートフォンで使えるアプリ「Googleレンズ」では、カメラで撮影した画像に映った外国語の文字をリアルタイムで翻訳する機能がある。旅先の標識や看板、レストランのメニューなどを手元ですぐに翻訳してくれる(図4)。

2024年度の新入生向けパソコンでは、WindowsもOfficeソフトも生成AI対応になります。日経パソコンEduなら、大学生活の4年間で常に最新のコンテンツを利用できます



大学生活におけるコンテンツの活用シーン

オンライン授業や、レポート・論文作成、資格取得、就職活動など
大学生活のさまざまな場面で、コンテンツを活用することができます。



オンライン
授業に

パソコン＆オンライン授業 活用読本

今やすっかり一般的になった大学でのオンライン授業。授業を受けるために必要な知識とスキルをまとめた一冊です。Windowsの基本操作、Officeアプリの活用法もコンパクトに紹介しています。



資格
取得に

MOS対策テキスト シリーズ

Officeアプリケーション活用の資格試験「MOS」(Microsoft Office Specialist)の合格を目指すなら、問題と解説をまとめた解説書シリーズが便利です。合格に必要なスキルを実習しながら身に付けることができます。



卒業
論文に

60分で学ぶOneNote 基本操作編

大学では日々の課題レポートから卒業論文まで、文章を書く力を常に求められます。文章を書く上で大切なのが資料の整理です。メモや写真、音声記録の整理に便利な「OneNote」の使い方をわかりやすく紹介します。

4年間の活用イメージ

1年生

入学すると履修登録やオンライン授業、レポート提出など、毎日パソコンを使う機会があります。まずはパソコンの基本操作を身に付け、自分が実際によく使うソフトの基本機能を覚え、付属コンテンツを活用しながらパソコンスキルを磨いていきましょう。

1年生の
パソコン活用例

- 履修登録
- 資格取得
- レポート提出
- 語学学習
- クラブ、サークル活動

おすすめ
教材は
コレ!

オンライン授業への
参加方法を覚えよう!

事前準備やアクセス方法など、オンライン授業に参加するまでの流れをしっかり身に付けることで、快適で便利な環境で講義に参加できます。



2年生

2年生になるとレポート提出がさらに増え、授業やゼミなどでプレゼン発表会用のスライド資料を作成することもあります。また、部活・サークルにおいても普段の活動や試合結果の分析などでパソコンを活用する場面が増えてきます。

2年生の
パソコン活用例

- 履修登録
- 資格取得
- プレゼンテーション発表
- レポート提出
- 語学学習
- クラブ、サークル活動
- 海外留学

おすすめ
教材は
コレ!

オフィスソフトを
使いこなして
作業効率UP!

オフィスソフトといわれるWordやExcel、PowerPointを上手に使いこなすことは大学生活には必須。解説を見ながら学べる学習ソフトを活用すれば、スキルアップが目標せます。



3年生

3年生になると、いよいよ就職活動がはじまります。企業の情報収集や企業説明会の予約、エントリーシートの作成など、授業だけでなく就職活動においてもパソコンを使う機会が増え、今まで以上にパソコンを使う頻度が高まります。

3年生の
パソコン活用例

- 就職活動
- 資格取得
- 英語試験
- プレゼンテーション発表
- レポート提出
- インターシップ、教育実習
- 履修登録

おすすめ
教材は
コレ!

資格取得は
就職時に
とっても有利!

WordやExcelのスキルを証明するMOSや、英語スキルを試すTOEICなど、就職の時に役立つ資格を2年生から3年生の間に取得しておくのがおすすめです。



就活関連

4年生

卒業論文や研究発表は卒業するために越えなければならない最後のハードルです。就職活動で忙しい時期と重なることもあり、スケジュールを上手に管理するためにもパソコンスキルを磨いておく必要があります。

4年生の
パソコン活用例

- 就職活動
- 内定企業との連絡
- 資格取得
- 卒業論文
- プレゼンテーション発表
- レポート提出
- 履修登録

おすすめ
教材は
コレ!

小技の効いた
ソフトは卒業論文の
作成に役立つ!

WordやPowerPointと一緒に、文書の収集や管理ができるアプリケーションソフトを活用することも、スムーズに卒業論文を完成させるコツです。





② 基本から分かる「iPad連携」

WindowsパソコンやMacとiPadを連携して活用することで、大学生の学びや生活の質が格段に向上します。端末活用の実践テクニックから、WindowsやMacとの連携術まで、大学生活にiPadを活用するための知識とノウハウを丁寧に解説します。

Section 01 iPadの「メモ」を情報管理の起点にする

iPadはコンテンツ消費に向けた端末といわれることがある。WebブラウザやSNS、動画視聴などに手軽に利用できるためだが、そこには「消費以外の用途には向かない」といった裏の意味が込められている場合も多い。しかし、それはiPadの一面を捉えているにすぎず、実際にはクリエイティブな用途はもたら

仕事の現場でも活用するポテンシャルがある。ここで活用する際に必要な各種テクニックを取り上げて、実際に仕事でiPadを活用しようとすると、ビジネス文書や各種のクラウドサービスの連携が

からめきを「クイックメモ」を使って簡単にメモする

「メモ」アプリはデータの「万能格納庫」

① iPadに標準の「メモ」アプリは多量なデータのほか、Webページのリンク、画像、音声、PDF、位置情報などをさまざまな形式のデータを扱うことができる。それぞれのデータは、ほかのアプリに書き出して再利用も可能

② 画面の右下隅から中央に向かってスワイプすると「クイックメモ」の表示メニューが表示される。このメニューから「クイックメモ」を選択すると、メモの作成画面が表示される。この画面で、テキストを入力したり、リンクや画像などを追加したりすることができる。

Section 02 パソコンと並べて情報表示量をアップ

iPadをパソコンの横に置くだけで、手元で表示できる情報量が一気に増える。「画面が小さいのでは？」と不安を感じる人もいるかもしれないが、iPadのディスプレイは解像度が高く、文字表示も美しいため想像以上に見やすい。コンテンツだからこそ使い慣れた主に柔軟に設けるメリットもある。

縦横自在に設けるのも便利だ。特に、Webブラウザや書類を閲覧する際は縦表示が快適にできる(図1)。Webページや書類をピンチ操作で直感的に拡大・縮小できるのもiPadならではの(図2)。スマホを使い慣れている人なら、こうしたiPadの作法にはすぐに慣れるはずだ。

ほとんどのケースで同じ情報が共通して使える

iPadとWindowsパソコンは、多くの部分で連携ができる。例えば、執筆に使うWebブラウザは、「Chrome」を同じGoogleアカウントで使うだけでブックマークを共有できる。「Mac」+iPadの組み合わせなら、互方で「Safari」を使えばよいだろう。Windows、Mac、iPad、Androidスマホといった複数の使い方も、Chromeを使えばブックマークは共有可能だ(図3)。パソコンをデュアルディスプレイ環境で使ったことがある人なら、メインの画

③ Webブラウザの閲覧はiPadに任せる

④ iPadをパソコンの横に置くだけで、「Safari」や「Chrome」などのWebブラウザでWebページを開いて閲覧しよう。縦向き、横向きが自由にできるので、Webページの内容に自由に最適な表示が可能。*横向きはiPad(第9世代)の10.2型画面で2160 x 1620ドット

Section 04 パソコンとの連携に欠かせないファイル技

iPadで使われる「iPadOS」は、iPhoneの「iOS」の流れを汲み、ファイルを意識することなく利用できる点が特徴だ。デジタル機器に不慣れな人にも扱いやすく、iPad単体で作業を進める際は何かと都合が良い。その一方で、パソコンを使い慣れている人は、ファイルを意識させない仕組みに戸惑うのも事実だ。ここでは、

① iPadとパソコン間のファイル連携は、パソコンで管理しているクラウドストレージを経由すると簡単。iPad側にもクラウド用のアプリをインストールし、ログインして使おう

Section 03 iPadの標準機能でPDFに添入れる

① iPadの標準機能でPDFに添入れる

② ペンで書き込んだものは印刷になる。長い手書きの修正(図1)を使って入力してかきこ

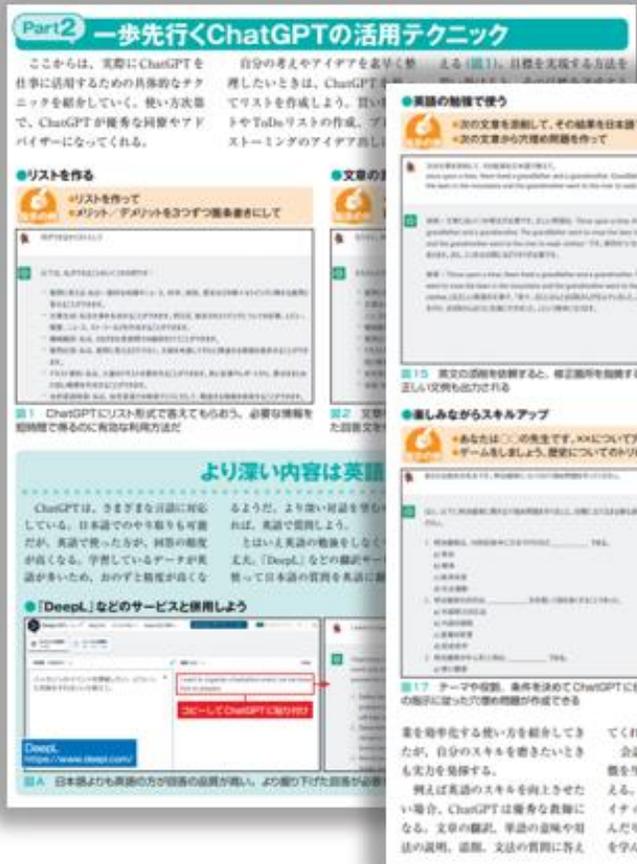
Section 04 パソコンとの連携に欠かせないファイル技

① iPadとパソコン間のファイル連携は、パソコンで管理しているクラウドストレージを経由すると簡単。iPad側にもクラウド用のアプリをインストールし、ログインして使おう



③ 大学生が知っておきたい「生成AI活用」

「ChatGPT」を始めとする生成AIの登場で、社会が大きく変わろうとしています。レポート作成や語学学習、就活対策など、学生生活のさまざまなシーンで生成AIの活用が可能です。大学生が知っておきたい生成AIの基本と活用テクニックを解説します。





④ 大学生活のための「ノートテイキング術」

パソコンやiPadを使って講義ノートを取ったり、資料を作成・管理したりすることで、学習や資格取得、研究などの効率が格段に向上します。ペンを利用した手書き入力やボイスメモの活用、デジタルノートアプリの活用など、大学生のための「ノートテイキング術」を丸ごと紹介します。

新入生向けのWindowsパソコン、Mac、iPadと「活用ガイドブック」をセットでご提供いただくことで、以下のような効果が期待できます。

1 これからの大学生に必要なICT活用スキルが身に付きます

活用ガイドブックと日経パソコンEduのコンテンツを利用いただくことで、Officeソフト、プログラミング、AI活用、データサイエンス、資格取得、就職対策などのさまざまなジャンルで、これからの大学生に求められるICT活用スキルが身に付きます。

2 量販店モデルにない付加価値をWindowsパソコン、Mac、iPadに追加できます

日経パソコンEduの4年分のアクセス権が付属する活用ガイドブックは、大学生協様向けのオリジナル商品です。Windowsパソコン、Mac、iPadと組み合わせることで、量販店モデルにない付加価値を端末に追加できます。

3 新入生向けの講座でコンテンツを利用いただけます

活用ガイドブックの紙面のコンテンツや日経パソコンEduの記事・書籍コンテンツは、大学生協様の新入生向け講座での2次利用が可能です。「iPad連携」「生成AI活用」「Office入門」など、新入生や保護者の関心が高いテーマの講座をコンテンツを基に展開していただくことが可能です。

※2次利用の際は、講座受講者の活用ガイドブック購入が必要になります



新入生・保護者向けの告知活動をサポートします

活用ガイドブックをご採用いただいた店舗様には、保護者や新入生の皆様に配布する案内用パンフレットを無料でご提供します。また、各地区の地域事業連合様とご相談して、代表的な店舗様の取り組みを日経BPのメディアでご紹介したいと考えています。

★2023年の取り組みの例（パンフレット）

大学生協オリジナルパソコンのご案内

オンライン授業、プレゼン発表、資料配布、レポート提出、課題や課題のトラブル、4年間の保証と保険付き、就職活動

WEBSITE 0120-800-000

大学生の自分専用パソコンはもう当たり前

ノートパソコンの必要性を認識している大学が増え、今や大学にとってパソコンは必須アイテムとなっています。では、どのような場合にパソコンが活用されているのでしょうか。大学生生活でのパソコン活用シーンを紹介しましょう。

オンライン授業、プレゼン発表、資料配布、レポート提出、課題や課題のトラブル、4年間の保証と保険付き、就職活動

大学生にとってうれしい魅力がいっぱい

Point 1 毎日持ち運んで使うから軽くて、長時間バッテリー

Point 2 学習や就職活動に役立つコンテンツが付属

Point 3 故障や課題のトラブル、4年間の保証と保険付き

パソコンを使いこなして大学生生活を豊かに

1年生 入学すると授業でオンライン授業、レポート提出など、毎日パソコンを使う機会があります。またパソコンの基本操作も身に付け、学習や就職活動に役立つコンテンツが付属します。

2年生 授業の課題は1年生から始める！

3年生 就職活動の準備に活用！

4年生 卒業論文の作成に活用！

3年生 就職活動の準備に活用！

就職活動の準備に活用！

就職活動の準備に活用！

ICT活用の書籍もまるごと収録

100冊以上の書籍が収録されています。

Scratchで今から始めるプログラミング

Excel 365 & 2019

Word 2019

PowerPoint 2019

Excel 365 & 2019

Word 2019

PowerPoint 2019

Excel 365 & 2019

Word 2019

PowerPoint 2019

こんな「困りごと」も大丈夫

困りごとをサポートが便利

困りごとをサポートが便利

日経パソコンEdu

日経パソコンEduは、大学生生活における授業や資格取得、就職活動などに役立つコンテンツをPDFで提供するクラウドサービスです。

ICTの幅広い知識・スキルが身に付く多彩なコンテンツが読み放題

★2023年の取り組みの例 (Web)



大学生協オリジナルパソコンのご案内

パソコンを購入する前にちょっとまって!

大学生協オリジナルパソコンは、先輩たちの体験や要望、そこから生まれた知恵を集約し、機能や機能を厳選しています。4年間の大学生活を保障しながら、最初のパソコン選びが手堅いです。ご購入前のパソコン選びにお役立てください。

パソコンを選ぶときのチェックポイントは?

- 推奨スペックは?
- 長時間バッテリー
- 小型軽量で持ち運びやすい
- 最新OSの良やすさ
- カメラやマイク搭載
- 充実の保証・サポート

6つの大きなチェックポイントを紹介!

大学生協オリジナルパソコンなら 大学生にとってうれしい魅力がいっぱい!

うれしい魅力 毎日持ち運んで使うから軽くて、長時間バッテリー

パソコンは大学に毎日持ち運ぶものだから軽量であることを選択しています。また、オンライン授業も

ケーススタディ

公立はこだて未来大学 iPadと4年間保証のパソコンで 学生生活をサポート!

公立はこだて未来大学
北海道函館市亀田中野町116番地2
<https://www.fun.ac.jp/>

公立はこだて未来大学は、システム情報科学部の1学部からなる単科大学。北海道函館市内のキャンパスでは、大学院生を含めて1200人を超える学生が学んでいます。学生は2年次から、「情報アーキテクチャ学科」と「情報システム学科」の2つの学科に分かれて学びます。

約2000坪の広さが特徴的な公立はこだて未来大学の本部棟。函館市内のキャンパスでは、大学院生を含めて1200人を超える学生が学んでいます。